

複合仕訳の定型マスタ作成機能

仕訳の定型マスタを会計伝票の形式で作成できるようになります。主に複合仕訳の入力でご活用いただけます。

リリース日：2017年4月5日(水)

定時取引伝票設定

[マスタ作成]タブ新メニュー

(※) 従来の[定時取引設定]は【定時取引仕訳設定】に名称変更となります。こちらの操作方法、および作成済みの定時取引に変更はありません。

会計伝票

[定時取引取込]ボタン追加

複合仕訳の定型マスタ作成機能

1

定時取引伝票設定の画面項目





①	パターン作成	新規の伝票パターンを作成します。
②	パターン複製	既存のパターンをコピーして新規の伝票パターンを作成します。パターン名以外が新規パターンにコピーされます。
③	パターン削除	不要な伝票パターンを削除します。
④	パターン表示順	会計伝票メニューにおける伝票パターンの選択表示順を変更します。
⑤	パターンリスト	登録済みの伝票パターンが表示されます。
⑥	パターン名/伝票	リストでアクティブになった伝票パターンの内容が表示されます。修正も可能です。

複合仕訳の定型マスタ作成機能

2

伝票パターンの作成(定時取引伝票設定)

<p>(1)</p> 	<p>— 定時取引伝票設定 —</p> <p>「パターン作成」をクリックします。パターンが1件も登録されていない場合は(2)へ進みます。</p>
<p>(2)</p> 	<p>パターン名と伝票(仕訳)を入力し[F2登録]をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 1パターンにつき1伝票の登録となります。 ■ 貸借に差額がある場合でも登録が可能です。

活用例

<借入金の返済> ● 1つの伝票としてマスタ登録 → 仕訳に取込

長期借入金	100,000	普通預金	101,500
支払利息	1,500		



従来の仕様では「長期借入金」と「支払利息」をそれぞれ別の仕訳＝定時取引として登録、取込をする必要がありました。

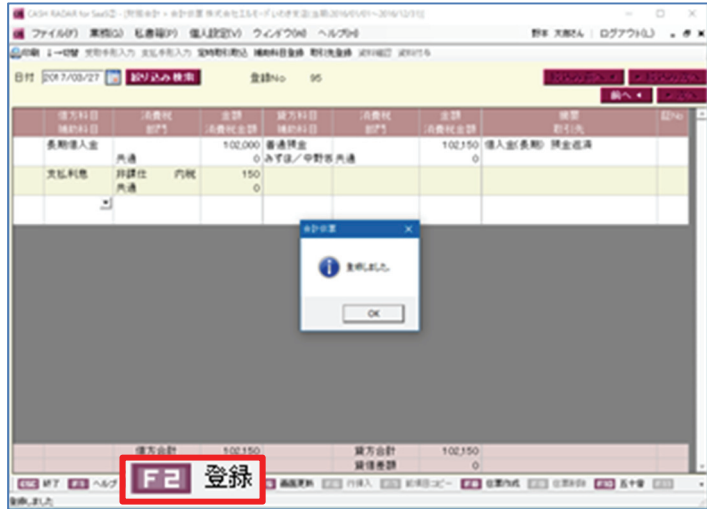
新メニュー【定時取引伝票設定】により、これらを1つの伝票＝複合仕訳としてマスタ登録、取込ができるようになります。(単一仕訳の伝票も登録可能です)

複合仕訳の定型マスタ設定機能

3

伝票パターンの取込(会計伝票)

- (1)  — 会計伝票 —
仕訳日付を設定し、入力欄にカーソルがある状態で、画面上部「定時取引取込」をクリックします。
- (2)  仕訳として登録したい定時取引パターンを選択し、必要に応じて修正を行い、[F20K]をクリックします。

■1パターンのみ選択が可能です。
■貸借に差額がある場合はエラーになります。
- (3)  伝票入力画面に戻りますので、[F2登録]をクリックします。

■他パターンも併せて取込む場合は、F2登録前にあらためて「定時取引取込」を実行します。